

2025. 2 月 女性チャレンジ応援拠点だより



コラム 「〈気づき〉の共有、〈刷新〉の協働」

2月3日は「立春」でした。日の出時間も6時台に入り、陽ざしも春めいてきました。いよいよ名実ともに「新春」、新年の「計」も定まり、それに向けてエンジンもかかってきたのではないのでしょうか。ただ、季節の変わり目ですから、体調への気配りをどうぞお忘れなく。

さて、新年を迎えると、年度末が視野に入ってきます。年度内と新年度にむけた作業が、日常業務に加わってきます。気ぜわしくなる時期ですが、当年度の総仕上げとまとめをしっかりやり、新年度のブラッシュアップにつなげたいものです。そこで、2月の『夢をカタチにみちびくコミュニケーション』は、「〈気づき〉の共有、〈刷新〉の協働」をテーマに考えます。

直近の実例でお話しましょう。運動を通じた健康推進の地域活動に携わって7年になる方のお話です。新年元日から仕事をされたそうですが、ネット対応に不具合が生じてしまいました。現在のシステムになって初めてのことだったので、どうしても自分では対処できず、三が日の過ぎるのを待って旧知の専門家に助けを求め、なんとか正常に戻ったそうです。実は半年前には別のネット対応でのトラブルがあり、自分たち団体側の単純ミスから、関係各所にお詫びにまわる事態に発展していました。『二度あることは三度ある』、このままスルーすると、次はもっと大変なことになりかねません。そこで、「新年度を迎えるまでに、その旧知の専門家の人をお願いして研修会を開くつもりです。ネット対応への危機意識とスキルの程度をもう少し上げないと、と思って」とのこと。

賢明な判断です。願わくば、半年前のトラブルのときに実施されていれば、緊張感が高まっているときですから、スタッフみなさんの問題意識や危機意識が強まり、研修の効果もあがったことでしょう。それでも、自分たちの課題に気づいて、さっそく具体的な方策を実行するというのは立派です。これを機にネット対応はさらに刷新されていくでしょうね。

ところでこの同じ方から別のお話でもしました。この一年関わっている運動インストラクターの人がいるけれど、その方の能力をうまく発揮させることができていないのでは、と感じているというのです。「まだ場に慣れていないということもあると思うんですけど…」とのこと。気になっているなら、当人と話したことはあるのかと尋ねると、「無いです…」。

目にみえるはっきりとしたトラブルには、人間、反応しやすいものです。課題を直感して方策をとる動機もうまれやすい。もちろん目にみえてラッキーなこともしかりですが、すぐには異変のなさそうなものには、反応が鈍くなります。そこで、「もし本当にうまく能力が発揮されていないとすれば、団体にとっても、当人にとっても、モッタイナイ。ちょうど年度末を迎えるので、〈ふり返り〉の名目ででも、面談の時間を設けてはどうですか？」と勧めました。

先方にあまり構えられてもお互いに話しにくいでしょうし、例えば、慰労の意味もこめて、ランチに誘い、フランクな場を選ぶのも一考です。面談の時間は2時間ぐらいになるでしょう。配分は、序盤30分、本題60分、結び30分が通常です。まずは1年やってみてのざっくりした感想などを相手から聴きだした後、当方の気になっていることを話して、双方で意見交換する。そのうちに、どう改善・改良のアプローチをすればいいかがお互いにみえてきて、具体的な課題を確認し、その他雑談をして面談を結ぶ。「こんな感じ、いかがですか」と向けると、「はい、そうですね、そうします!」と明るく応えられました。先送りしたくなるコミュニケーションの場ほど、追ってプラスをもたらすものです。誰かに何かを気づいたならそれを共有し、新しい変化と一緒にむかっていく。そうありがたいですね。

さあ、そんな風にして新年度を迎えるようにしましょう。「女性チャレンジ応援拠点」スタッフ一同、後押ししていきます。みなさまのご利用をお待ちしております。

女性チャレンジ応援拠点

場所：大阪市天王寺区上汐 5-6-25 クレオ大阪中央 4 階
メール：women-kyoten@danjo.osaka.jp

運営：大阪市立男女共同参画センター中央館
(電話 06-6770-7200 FAX 06-6770-7705)

※ 開室日

※ 日・月曜日、祝日、祝休日の翌日は休室				
火	水	木	金	土
10:30 ～ 12:30	18:00 ～ 20:00	13:00 ～ 15:00	10:30 ～ 12:30	13:00 ～ 15:00

※ 開室時間内は自由に出入りいただけます。
お気軽にお立ち寄りください。

